

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

サイバー攻撃

(回答:3月9日時点)

他国から伊勢市はサイバー攻撃を受けた事がありますか。  
サイバー攻撃の防御をしておりますか。

名古屋港統一ターミナルシステムがサイバー攻撃を受けシステム障害が  
起った。マイナンバーは大丈夫か  
とかく日本人は性善説で生活している。

回答

伊勢市では、サイバー攻撃への防御のために、国からの指示に基づいた  
セキュリティ対策を含め、適切に防御対策を行っております。また、外国  
から不正なアクセスを行おうとする試みを検出する場合がありますが、こ  
れを適切に防御しております。  
インターネットを経由した、外部からのサイバー攻撃を考慮して、インター  
ネットとは分離された専用のネットワーク環境にて、マイナンバー等の情  
報やそれらの関係システムを取り扱うこととしております。

担当課

デジタル政策課

(2025年3月回答)【3/9～3/14】

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

使用料

(回答:3月12日時点)

以前に市営化するならやすらぎ墓地の使用料を下げしてほしいと投稿しました。  
みんなが必要なサービスなので必要最低限のクオリティを安価に公共が提供する。  
それ以上のクオリティを求める人はお金を出して任意でそちらのサービスを利用する。  
市営墓地と一般の墓地について、学校の公立と私立の関係をイメージしていたので、「私立校が公立校に変われば授業料も質も他の公立レベルになる(公立の授業が私立に劣るという話ではなく設備やその他を含めた総合的な学習環境の話)」と同じようなことかと思っていた。  
値段が変わらないならお金に余裕がない人は結局今ある安い市営墓地を買うしかないな。  
市が運営しても、値段も質も私立並で変わらないなら、市に運営母体が変わる意味とは？既にやすらぎを使っている人たちは別に使用料が下がるわけでもなく、まだ使っていない人も安い市営墓地の選択肢が増えるわけでもなく、誰にメリットがある変更なのか？  
市の財政が厳しいから利益をとるために公立の皮をかぶったお金持ち向けのサービスを市が始めるってこと？  
最終的に、値段は私立並、でも中身は・・・なんてことになったりしますか？

回答

伊勢やすらぎ公園墓所は、市が市議会と協議しながら墓地公園の整備計画を立て、この計画を進めるために伊勢市霊園公社を設立し、同公社によって整備したもので、造成、分譲を行った後は市が管理運営することとしていました。  
こうした経緯を踏まえ、使用料は公営施設を前提に料金設定されており、市営化に向けては、先に回答させていただきました方針で調整しています。ご理解いただきますようよろしくお願いします。

担当課

環境課

(2025年3月回答)【3/9～3/14】

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

やすらぎ墓地と伊勢市の財政状況について(続き)

(回答:3月12日時点)

以前、やすらぎ公園の墓地について投稿させてもらい、昔、墓地需要に対応するため伊勢市が計画と霊園公社を作り、霊園公社がやすらぎ墓地を作ったがゆくゆくは伊勢市が運営するという計画だった。

国の指針では「墓地経営は原則地方公共団体」なので、霊園公社の債務完済をきっかけとして、当初の予定通り伊勢市が運営を引き継ぐ。という回答をもらいました。

前回私が投稿した意見の本意としては

### ◎必要性

既にある市営墓地で十分なので、やすらぎ公園の墓地は必要施設ではなく余剰施設になるのではないか。

### ◎財政負担

伊勢市の財政的に、余剰施設の運営をしていく余裕はないのではないか。

ということだったので、伊勢市からの回答とはあまり噛み合っておらず、筋は通っていますが、市民ファーストじゃないし、伊勢市全体のことも考えていない、施設本位の回答だなという印象を受けました。

### ◎必要性について

霊園公社ができたのが1973年(wiki情報なので間違ってたらすみません)なので、50年前以上の話になりますが、「墓地需要に対応するため」ということは、当時はお墓を作りたくても区画が足りず困っている人が大勢いたんだと思います。

地価が高く墓地不足のイメージがある都会ですら墓じまいブームで「墓地余り」なんて記事を見るくらい、お墓が余っているらしい今となってはあまり想像できません。

誤解がないように伝えておきたいのですが、私は「やすらぎ公園墓地の必要性」ではなく、「やすらぎ公園墓地の市営化の必要性」に疑問を持っているのであり、「この墓地余りの現状からしてそもそも当時の墓地需要の見込みが甘すぎる」と批判がしたい訳ではないんです。現にやすらぎ公園墓地が存在しなかったら、今使っている数千の利用者で市営墓地はパンクしているので、正に当時の墓地需要に対応するため作る必要性があったのは間違いないありません。

伊勢市のホームページを見ると3カ所の市営墓地の空き区画の数が掲載されていて、合計で282区画と、300近い空きがあります。これが埋まっていて今後不足するということがあまり想像できないのですが、私の想像力不足で、市営化推進派の方は300程度の空きでは全然足りないという認識なのでしょうか。

そもそもこの数字は令和6年3月末時点と約1年前の数字なので、もしかしたら今の空き区画はこの数字よりも増えているんじゃないでしょうか。実際に墓地が余ってきている、既存の市営墓地だけで墓地需要が満たされていると言える今、伊勢市が税金で管理運営していく墓地を増やす必要性を感じません。

#### ◎財政負担について

伊勢市が不交付団体のような余裕があれば、極論市営化の必要性なんて話もせず、当初の予定通り市が管理運営していけばいいとも思いますが、ちょうど先日掲載された来年度予算案の記事が答えだと思います。「前年度比10.6%増で過去最大の予算規模。一般財源の不足により財政調整基金から37億繰り入れで、来年度末の基金残高見込みは38億。」単純計算では、このままいくと令和9年度以降は詰みで、次の20年どころか次の遷宮まで持ちません。もちろん繰り入れた全額使う訳もないのでそんなことにはならないと思いますが、決して余裕がある財政状況ではないと思います。

#### ◎市営化する理由について

伊勢市からの回答には当時の約束か、計画か、方針か、詳しく書かれてなかったのでもわかりませんが、要は「半世紀前の決めごと」によって市営化するということでしょう。

やすらぎが経営難なんて噂も聞きましたが、実際は赤字が膨らむ訳でもなく債務を完済できるような状態なら、市がわざわざ税金で管理運営しなくとも今後も独立採算で健全経営に努めてもらうだけの話なので、市営化する理由にはなりません。

国の指針が「原則地方公共団体」であることも挙げられてましたが、公営以外の墓地が他にもあるのに、やすらぎ公園墓地だけを市営化する理由にはなりません。結局のところ、市営化する理由は「元々そのつもりで作ったから」という「半世紀の決めごと」に集約されるはずで

長々と偉そうに意見を書いてしまいすみません。まとめます。

前回の伊勢市からの回答では「半世紀前の決めごと」によって、市営化の方針で進めていると感じましたが、「やすらぎ公園墓地を伊勢市が運営する必要性」や「伊勢市の財政負担」を考慮していますか？

考慮した上で「半世紀前の決めごと」の方が優先されるので、市営化の方針で進めているということでしょうか？

これがどちらも「はい」ということなら、もう特に意見はありません。納得というか諦めに近いですが、そういうことなんだと飲み込みますし、市議会で正しく議論がされることを願います。

ご意見ありがとうございます。

「やすらぎ公園墓地を伊勢市が運営する必要性」につきましては、先に回答しましたとおりです。本来ならば市営墓地として整備し運営すべき施設として、改めて市営化に向けて市議会でご議論いただいているところで

す。次に、「伊勢市の財政負担」につきましては、引き続き管理運営方法の改善に努め、歳出削減、財源確保を図ってまいりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

担当課

環境課

(2025年3月回答)【3/9～3/14】

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

公共施設について(続き)

(回答:3月12日時点)

(前回の内容)

二見の公民館は老朽化してきたので廃止して解体すと新聞で見た。

閉鎖したサンライフも、会議室やトレーニング施設や市民講座は、いせとぴあや県営体育館とか市内に代わりになる同じ機能の施設があるからそっちを使えという話だったと思う。

似たような施設があるのに建て替えるのはムダという理屈は一応わかる。移動手段が少ない者にとっては大変不便ということも少しは考えてほしいが。

でもそれであれば、市内に同じ機能をもつ市営墓地があるのに墓地という公共施設をわざわざ増やすのは矛盾している。市の方針は統一されているのか？

既にあるものを市営にするだけなので金がかからないから例外ということか？

(回答)

ご意見ありがとうございます。

伊勢やすらぎ公園墓所は、当時の墓地需要に対応するため、市が市議会と協議しながら墓地公園の整備計画を立て、この計画を進めるために、伊勢市霊園公社を設立し、同公社によって整備したもので、造成、分譲を行った後は市が管理運営することとしていました。

また、国の指針においては、墓地の経営主体は地方公共団体が原則とされていることから、令和4年に同公社が債務を完済したことを機に、改めて市営化に向けて市議会でご議論いただいているところです。

ご理解いただきますようよろしくお願いします。

人口が減っていく中で公共施設やサービスを縮小させるのは、市民にとって痛みを伴うものの避けられない選択であるが、地元の憩いの場は潰すのに既にある市営墓地を増やすのは市の方針としてチグハグで、逆行していないか、おかしいことになってないかということを感じ、たずねたかった。

回答には色々書かれているが、わたしには

「墓地をつくるときにそもそも市が運営するつもりだったので、公共施設の数に適正化していく計画とか、今ある市営墓地と重複しているとか関係なく市営墓地にする」と読めたので、これが正しいご理解なのか確認するためにもう少し教えてほしい。

質問1 市営墓地は公共施設の数に適正化していく計画の対象か？

質問2 対象外ならばなぜ対象外か？

質問3 既存の市営墓地があるのに新たに墓地を増やすことを公共施設の数管理する部署は了承しているのか？

質問4 了承しているのならばその理由は？「計画の対象外なので了承もなにもない」なのか「昔からの決定なので例外」なのかそれ以外か？

質問5 その墓地需要というものは、今の市営墓地では足りないのか？満たされておらず市営墓地を増やす必要があるのか？

質問6 つくったときの負債を何十年かかけてでも完済したということは、少しずつでも黒字経営できているということだろう。特に市営墓地を増やす必要がないのであれば、いままで通り霊園公社独自で運営していけばいいのでは？

質問7 墓地の経営主体は原則地方自治体という国の方針を挙げているが、寺の墓地や町内にある小さな墓地など、そうでないものの方が多いのではないか？

回答

いただいたご意見ありがとうございます。いただいたご質問に対して以下のとおり回答します。

**【質問1～4の回答】**

本市においては、公共施設の更新費用の抑制や平準化等を図るため、公共施設等総合管理計画を策定し施設の複合化等を進めていますが、市営墓地については、建物のように建替えにかかる更新費用が発生する施設ではないため、計画の対象から除外しています。

このため、伊勢やすらぎ公園墓所も計画の対象外となりますが、市営化については、先に回答したとおり当初の設置経緯や国の指針に基づき、市議会でご議論いただきながら進めており、また、公共施設等総合管理計画を所管する部署を含め庁内関係部署とも協議を重ねているところです。

**【質問5、6の回答】**

先の回答に記載しました「当時の墓地需要」は、伊勢やすらぎ公園墓所を整備した約50年前に墓地が不足していた状況を説明したものです。

現在は墓地不足が解消されておりますが、伊勢やすらぎ公園墓所の当初の設置経緯を踏まえ、改めて市営化に向けて検討を進めています。

**【質問7の回答】**

国の指針では、墓地の永続性及び非営利性の確保の観点から、営利企業を墓地経営主体として新たに認めることは適当ではないとの考え方により、墓地経営主体は地方公共団体が原則とされ、これによりがたい事情があっても宗教法人又は公益法人等に限定されています。こうしたことから、寺院や自治会等が経営する墓地は一定数存在しています。

担当課

環境課  
資産経営課

(2025年3月回答)【3/9～3/14】

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

旧沼木中学校屋内運動場について

(回答:3月14日時点)

先日屋内運動場の用途変更をしていないと回答をもらいました。知り合いの一級建築設計事務所に聞いたところドローン教室や避難所、催し物会場などが用途変更の建築許可が必要なのかは建築の行政庁である三重県の判断が必須であると聞きました。これらの用途に使用する前に三重県に相談にいらっているのでしょうか。どのように利用可能な範囲を定めているのか教えてください。伊勢市長鈴木健一さんはこの問題についてどうお考えなのかも回答をください。

回答

旧沼木中学校の屋内運動場については、今後の活用方法が決定していないため、建築基準法上における用途変更の相談は行っていません。このようなことから、施設の利用については、現状で可能な範囲内に限らせていただいております。

担当課

資産経営課

(2025年3月回答)【3/9～3/14】